

拠出金名: アジア欧州財団 (ASEF) 拠出金

国際機関等名	アジア欧州財団 (ASEF) (英文名称・略称) Asia-Europe Foundation (ASEF)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省欧州局アジア欧州協力室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成21年度	3,027	29		1米ドル= 103円	0
平成20年度	5,290	47		1米ドル= 113円	0
平成19年度	3,697,329	31,874		1米ドル= 116円	99.9
当該拠出金の目的・用途等	ASEFの実施する各種事業(新型インフルエンザ対策, 各種セミナー等)				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの。任意及び義務的拠出の合計額。)			国際機関等の財政 (2008年度決算)(シンガポールドル)		
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	8,220,798
1位	フランス	369	13.6	当該年度の支出	7,697,393
2位	ドイツ	345	12.7	次年度への繰越	523,405
3位	ルクセンブルク	281	10.3	会計検査機関名	
4位	デンマーク	274	10.1	Ernst & Young	
5位	中国	205	7.5		
日本は15位, 拠出率1.6%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化, 機能強化のための改革が行われているか, 当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
ASEFは, ASEMの唯一の常設機関として, ASEMの第3の柱(社会, 文化, 教育その他)においてアジア・欧州間の相互理解を促進する重要な役割を果たしている。現在, 2008年に就任した現事務局長の下, 財団運営の更なる効率化を高める努力を行っており, 我が国は, 理事会及び関連の下部委員会を含むすべての委員ポストを占め, 財団の運営に関するあらゆる事項に関与できる立場から, ASEFのそのような改革努力を積極的に支援している。					
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	49人 2.0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
我が国の拠出金事業である新型インフルエンザ対策事業の円滑な実施のため配置された邦人職員のポストが, 今後も維持されるよう支援していく考え。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため, 拠出率については暦年となっている。